

平成19年度採択機関

- ・ 現在までの事業成果

産業技術総合研究所
日本物理学会
東京農工大学
京都大学

機 関 名：独立行政法人 産業技術総合研究所

実施計画名：筑波研究学園都市を中心としたイノベーション人材創出モデルの確立

現在までの事業成果（平成20年8月末現在）

平成19年度採択事業である、産総研をリード機関とする本キャリアパス事業では、「筑波研究学園都市を中心としたイノベーション人材創出モデルの確立」を目指して、「Think Globally, Act Locally」を合言葉に、広い視野と地域内連携を特長とする様々な活動を展開してきた。

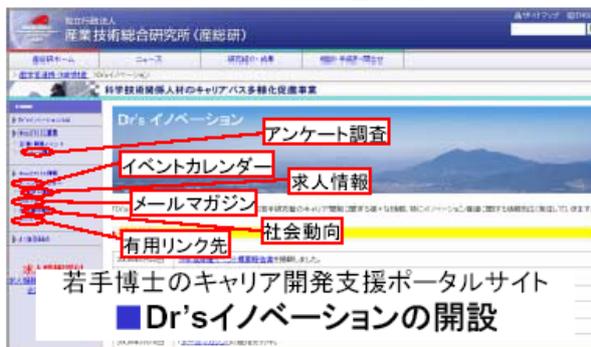
- ・ Dr's イノベーションの開設…国内外の情報発信ポータルサイト、各種イベント情報、企業求人情報、社会動向情報など掲載。現在平均17,000件超/月のアクセス。
- ・ メールマガジンの創刊…登録者数500名超、2008年1月創刊後、現在までに11号発行。
- ・ シンポジウムの開催…2008年1月21日「今、求められる研究者像と人材育成」、243名参加。
- ・ スキルアップセミナーの開催…8/5現在で計6回の各種セミナーを開催し延べ252名が参加。産総研ナノテクノロジー研究部門と連携した微細加工・ナノ計測の技術講習会も実施。
- ・ 就職マッチングイベントの開催…8/1現在で計11回実施し、延べ445名の参加（内定者延べ11名以上）。若手博士のプレゼン会など従来の就職説明会とは異なる新企画も導入。
- ・ 育成プログラムの開発…意見交換会、セミナーを各1回開催。
- ・ 連携機関会議の開催…実施機関、協力機関、その他連携機関を含め延べ3回の実施。
- ・ 現状把握のためのアンケート調査…若手博士の雇用在籍調査1回（回答：つくば地区24機関）、キャリアパス形成への意識調査1回（回答：若手博士467名、指導者209名）、企業における人材ニーズ調査1回（回答：14社）



文部科学省委託事業「科学技術関係人材のキャリアパス多様化促進事業」
 ー筑波研究学園都市を中心としたイノベーション人材創出モデルの確立ーH19-21FY

Think Globally!
 ー国内外の情報を発信ー

Act Locally!
 ー地域での連携強化ー



■若手博士への就職支援

企業と若手博士の情報交換の場を提供

- ・ 第1回個別相談会 8月28日 企業5社、ポスドク等45名（うち就職内定5名）
- ・ 第2回個別相談会 3月8日 企業18社、ポスドク等53名（うち就職内定2名）
- ・ 若手博士のプレゼン会 1月25日 ポスドク等18名によるプレゼン
- ・ キャリア相談会 2月17日 アドバイザ5名、ポスドク等92名（うち就職内定4名）



機 関 名：独立行政法人 産業技術総合研究所

実施計画名：筑波研究学園都市を中心としたイノベーション人材創出モデルの確立

産総研キャリアパス事業

－ 筑波研究学園都市を中心としたイノベーション人材創出モデルの確立 －



「Dr's イノベーション(ドクターズイノベーション)」は、イノベーションの推進エンジン役を担う若手博士のキャリア開発に関する様々な情報を広く発信しています。

はじめに

私たちは、任期付き雇用の若手研究者の人材育成に関する根本指針を確立すると共に、筑波研究学園都市を中心として若手研究者の育成体制を整え、この地域を世界有数のイノベーション人材輩出地域とすることを目指しています。若手研究者のキャリア開発の根本指針を確立するために全国・全世界を視野に入れた「Think Globally」の活動と、地域内連携を強めた「Act Locally」の活動を進めています。

活動内容

Think Globally

日本で任期付き雇用の若手研究者が増加したのは近年のことであり、彼らの人材育成については議論が進んでいません。そのため、まずは根本指針の確立が必要です。私たちは地域性によらない普遍的な指針を得るべく、以下の活動を行っています。

- **Dr's イノベーション (ドクターズイノベーション)**
若手研究者のキャリア開発に関する情報拠点化を目的としてインターネットサイト「Dr's イノベーション」を運営しています。全国の関係イベントの紹介、企業求人情報、社会動向の報告などを掲載しています。また、私たちの活動についても詳細を紹介しています。

<http://unit.aist.go.jp/humanres/ci/phd-career/>



- **各種調査**

キャリア開発の指針策定の基盤とするために、若手研究者、それを取り巻く環境である大学・研究機関、研究指導者、民間企業などの実態及び意識調査を行っています。

Act Locally

具体的なキャリア開発活動は、地域性を重視し、集中的に行うことで効果を発揮します。私たちは、特に筑波研究学園都市に拠点を持つ大学・公的研究機関に所属する若手研究者を主対象として以下の活動を行っています。

- **連携機会会議**
筑波研究学園都市におけるイノベーション人材創出モデル確立のための戦略検討会議を開催しています。
- **スキルアップセミナー**
企業・大学・独法等の多様な環境でイノベーションを目指す研究開発を進めるために必要な基盤的スキルの講習を実施しています。研究企画、プロジェクト推進、知財管理などのスキルに加え、微細加工技術の習得支援などを実施しています。
- **産業界就職支援**
任期付き雇用の若手博士を対象とし、産業界に就職するためのスキル講習や、産業界の実情紹介などを実施しています。大規模な就職説明会や、若手博士の企業向けプレゼン会なども実施します。
- **人材育成**
若手博士の育成担当者や、研究機関の人事担当者など関係者一般を対象とし、研究者の成長と育成をテーマとしてセミナーを実施します。



独立行政法人
産業技術総合研究所

能力開発部門

人材開発企画室

電話：029-862-6277
メール：phd-career@m.aist.go.jp

機 関 名：独立行政法人 産業技術総合研究所

実施計画名：筑波研究学園都市を中心としたイノベーション人材創出モデルの確立



「Dr's イノベーション(ドクターズイノベーション)」は、イノベーションの推進エンジン役を担う若手博士のキャリア開発に関する様々な情報を広く発信しています。

人材紹介業との連携と協力・WEBを通じた情報提供

－ リード機関としてご紹介する取組内容の概要 －

1. 人材紹介業との連携と協力

はじめに

これまでの任期付雇用の若手博士(ポスドク等)へのアンケートやヒアリングなどにより、就職活動の仕方そのものがわからない、研究が多忙なために就職活動に充てる時間を十分に取れないという声が大変多いことが判明しています。よって若手博士のキャリア設計・開発においては「最少の時間で最大の効果を挙げる」ことを目指した取組が必須です。大学や研究機関などの単独でのサービスには自ずと限界があるため、対外サポート機関として経験と実績を有する人材紹介業に着目し、ポスドク約16,000人というニッチではあるが、ポテンシャルの高い人材マーケットを構築するための連携と協力を進めています。

内容

● 人材紹介業の企画提案を積極的に受け入れ、ブラッシュアップを共同実施

人材紹介業の中には、就職マッチングの円滑化のために、履歴書の作成や面接などのフォローアップセミナー等のサービスを提供しています。特に有効な企画の場合には、今後の発展とつづば以外への波及効果を目的として事業内で積極的にセミナーを開催しており

ます。事前・事後のアンケートを通じて、積極的に情報交換・意見交換を行っています。一部は産総研内の研修に組み込まれるなど成果が出ています。

● 任期付雇用の若手博士(ポスドク等)へのサポートの厚い人材紹介業の紹介

ホームページ「Dr's イノベーション」では、多くの企業求人情報の中でも、ポスドク等へのサポートの手厚い人材紹介業者を一部ではありますが紹介しています。

<http://unit.aist.go.jp/humanres/ci/phd-career/kyujin/kyujin.html>

人材紹介業者は全国でかなりの数がありますが、任期付雇用の若手博士(ポスドク等)の事情に詳しい企業はまだ少ないです。目利きのできていないポスドク等へのサポートとして情報提供しています。

● 人材紹介業のポスドク等の理解促進に向けた情報提供

既に任期付雇用の若手博士人材に着目して行動を起こしている人材紹介業の他に、これから本格的に進出しようとする企業もあります。独自のビジネスモデルを有している場合もあることから、ポスドク等の環境を説明し、情報交換や意見交換を通じて様々な提案をしています。

2. WEBを通じた情報提供

はじめに：ホームページ「Dr's イノベーション」

<http://unit.aist.go.jp/humanres/ci/phd-career/index.html>

若手研究者のキャリア開発に関する様々な情報やイノベーション推進に関する情報を広く発信しています。ホームページのタイトル「Dr's イノベーション(ドクターズイノベーション)」には、博士の高度な技術と知識こそがイノベーションの推進エンジンとなる、またそのための環境整備の一つとしてこのサイトを立ち上げ、発展させていく、という思いを込めています。

内容

● 主催・関連イベント

産総研キャリアパス事業主催及び、連携協力機関主催イベントの情報を掲載しています。

● アンケート調査

つくば地区の大学・独立行政法人等の研究機関に在籍する任期付雇用の若手博士のキャリアパスに関する実態を把握し、今後のキャリア支援策策定の基礎資料とするために行っています。

● イベントカレンダー

若手博士のキャリア開発に関係するセミナー、シンポジウムなどのイベント情報をまとめて閲覧することを可能にし、個々のイベントの情報へのアクセスを簡便にすると共に、国内における動向を即時に把握することを可能にすることを目指しています。

● 企業求人情報

ポスドク等を対象とし求人を行っている企業の情報を掲載します。現在ポスドク等に関する求人情報は、大学新卒等と比べ、情報が一方所に集中しておらず、求人を出す企業側と職を求める研究者側の情報疎通に問題があります。多くの求人情報を集め、企業、研究者双方の関与を増やすことで就職マッチングの効率化を行います。

● 社会動向報告

若手博士のキャリア開発は日本国内でも盛んに議論されていますが、世界的に見ても非常に注目を集めるトピックであり、多様な議論、取り組みが展開されています。特に欧米では日本に比べ先進的な取り組みも散見されます。こういった国内外の取り組みに関する情報に簡単にアクセスすることができるようにし、多様な関係者の意識及び知識の向上に寄与します。

● メルマガ

ポスドク等の任期付き若手研究者及び育成指導者に対し、キャリア設計・開発に係る「気づき」と「リフレクション」の機会を提供したいと考え、毎月1回を目安に配信しています。

● リンク

若手博士のキャリア開発について言及している各機関などのリンクを収集しております。



独立行政法人
産業技術総合研究所

能力開発部門

人材開発企画室

電話：029-862-6277
メール：phd-career@m.aist.go.jp

機 関 名：社団法人 日本物理学会

実施計画名：物理学の資質を持つ人材活用のためのキャリアパス開発全国展開

現在までの事業成果（平成20年8月末現在）

以下の取組内容毎に成果を記す。

1) ポスドクと研究機関を対象とした実態調査の実施及び調査内容の検討活動

- ・物理学会会員を対象とした研究者のキャリア支援に関するWebアンケート調査(回答数約1700)
- ・物理人材が活躍できる場を知るための物理学会会員情報の調査(対象約4万件)
- ・アカデミックな場で求められるポスドク数、教職員数の調査(海外30国内20の機関)
- ・ポスドク、大学院生との個別面談(17件)

2) シンポジウム並びに、ポスドクを対象とした研修会の実施

[シンポジウム・イベント]

- ・キャリア支援センター開設記念式(H19 9/3 東大 参加者70名)
- ・物理学会第62回年次大会インフォーマルミーティング --事業説明--(H19 9/22 北大 参加者17名)
- ・領域拡大によるキャリアパスを探るシンポジウム(H19 12/1 お茶の水女子大 参加者71名)
- ・産業界でのキャリアパスを探るイベント(H19 12/16 神戸大 参加者118名)
- ・教育界でのキャリアパスを探るイベント(H20 3/3 京大 参加者75名)
- ・キャリア支援センターと日本医学物理学会との共同イベント(H20 3/14 東大病院 参加者133名)
- ・物理学会第63回年次大会インフォーマルミーティング --産業界とのマッチング--(H20 3/23 近畿大 参加者68名)
- ・物理学会第63回年次大会シンポジウム--活動報告--(H20 3/26 近畿大 参加者75名)
- ・教育界でのキャリアパスを探るイベントII(H20 8/8,9 京大 参加者178名)

[研修]

- ・放射線医学総合研究所見学会(10/15 放医研 参加者7名)
- ・日本医学物理学会との共同イベントにて医学物理方面の研修
- ・京大でのイベントで教育関係方面の研修

3) 研究指導者及び若手研究人材の意識改革を目的とした広報

- ・物理学会誌でのポスドク関連記事の連載(14回)
- ・物理学会キャリア支援センターHPでの情報掲示
- ・学会の年会、分科会、研究会等でのパンフレット配布、事業説明

4) 物理人材キャリア情報データベースの構築

博士人材の求人情報をデータベース化してWebに掲示するシステムを構築。(現在最終テスト中)
H20年9月から稼働予定。

機 関 名：東京農工大学

実施計画名：東京農工大学キャリアパス支援センター事業

現在までの事業成果（平成20年8月末現在）

平成19年度文部科学省の「科学技術関係人材のキャリアパス多様化促進事業」に採択された「東京農工大学キャリアパス支援センター事業の実施に当たり、「東京農工大学キャリアパス支援センターの運営に関する学長裁定」及び「東京農工大学キャリアパス支援室設置要項」を制定し、平成19年8月1日に「キャリアパス支援センター」を設置し、キャリアパス支援事業を開始した。

I キャリアパス支援センター事業を進める基礎的事項

1. 全国規模での大学提携体制の構築

【全国連合農学研究科協議会で18大学研究科がキャリアパス支援事業をバックアップ】

東京農工大学大学院連合農学研究科は、全国6地区に設置された連合農学研究科の基幹校であることから、その情報発信力を生かし、全国規模でのキャリアパス支援の提携を実現することにより、全国共通のセミナーやキャリアパス支援情報の共有化ができる体制を構築した。すなわち、キャリアパス支援連携大学間のネットワークを構築し、キャリアパス支援センター事業の促進を図ることを目的として、「キャリアパス支援大学ネットワーク協議会」を置いた。



2. 情報交換システムの構築

【キャリアパス支援サイト(求人求職マッチングサイト)を立上げ運用】

全国的なキャリアパス支援センター事業の推進を図るため、「キャリアパス支援サイト(キャリアアップ・求人求職マッチングサイト)」を立ち上げ、平成19年度末に導入した。博士後期課程学生、ポストドクター(PD)等と企業等の連携協力機関との間の情報交換、研修会やセミナー情報の発信、求人求職情報の交換、メンターとの相談等が円滑にできるシステムである。サイトには、平成20年8月末現在、学生、PD等161名、企業等17機関が登録している。



機 関 名：東京農工大学

実施計画名：東京農工大学キャリアパス支援センター事業

3. 幅広い進路拡大体制の構築

企業、研究機関等の連携機関と博士後期課程学生、PD 等との幅広い進路拡大体制を構築して、学生、PD、教職員との交流の機会を創出する。このため、全国の企業、研究機関等との連絡調整を図るため、「キャリアパス支援センター連携協力機関連絡会議」を置いている。

キャリアパス支援サイト(求人求職マッチングサイト)への企業等の登録案内は、次の方法により行っている。

- ① キャリアパスコーディネーターが直接企業を訪問して登録を依頼する「直接訪問営業型」
- ② 全教員にセンター長名で関係する企業等の紹介を依頼する「学内情報活用型」
- ③ 抽出した企業に郵送により登録を依頼する「効率追求型」

現在、企業等 17 機関が連携協力機関として登録している。

4. メンター制度

メンター制度を設け速やかに運用するために「東京農工大学キャリアパス支援センターにおけるメンター制度の指針」を定めた。指針に基づき指名されたメンターが、連携協力機関、企業、公的機関等との交流の機会を通して、望まれる人材像等に関する認識の共有化を図り、社会からの要求、学生、PD 等の個性や将来像などを踏まえて適切な進路指導、研究指導者との連絡、相談等を行う体制を整えた。現在、キャリアパス支援連携大学から推薦があった 58 名をメンターとして指名している。なお、センター評価委員会の指摘を受け、キャリアパス支援連携大学出身者で企業等の幹部職員の方についてもメンターに指名すべく推薦を依頼している。

5. 外部評価の実施

キャリアパス支援センターの活動状況及びプログラムの進捗状況に関する外部評価を行うため「東京農工大学キャリアパス支援センター評価委員会要項」を定め、学外委員 3 人、学内委員 3 人の 6 人で評価委員会を構成した。平成 20 年 3 月 28 日に評価委員会を開催した。

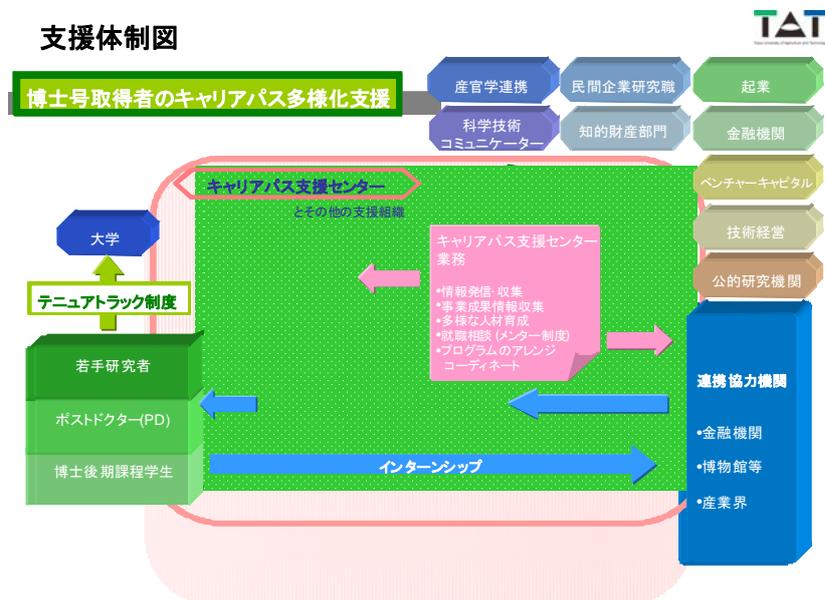
II キャリアパス支援の実施状況

キャリアパス支援センターは、博士後期課程学生、PD 等が主体的に進路を選択し社会の多様な場において専門性を活かして博士号取得者が活躍できるような環境を創出するため、キャリアパス支援プログラムを実施した。

【プロジェクト・アシスタント制度】

キャリアパス支援センター事業の特徴として、「プロジェクト・アシスタント制度」を設けている。プロジェクト・アシスタントは、キャリアパス支援連携大学の博士後期課程学生、PD 等の中から選抜した。キャリアパス支援センターが実施する各種の支援プロジェクトに参画し、キャリアパス意識改革の核としての人材養成を図るとともに、民間企業に対する人材 PR 活動、キャリアパス支援連携大学での広報活動並びに支援プロジェクトの企画・評価を行わせ、支援活動の効果的促進を図ることを目的としている。

現在、キャリアパス支援連携大学から推薦があった 59 名をプロジェクト・アシスタントに任命している。



機 関 名：東京農工大学

実施計画名：東京農工大学キャリアパス支援センター事業

1. 意識の醸成・環境整備

(1) キャリア設計・就職ガイダンス・個別コンサルティング

キャリアパス支援センタースタッフ、外部講師により、キャリア設計、就職・転職に関するガイダンス、個別コンサルティングを定期的実施している。

① キャリアデザインガイダンス

日時:平成20年3月5日(水)15時～16時30分

場所:東京農工大学府中キャンパス連合農学研究科棟第2会議室

参加者数:21名(ビデオでの聴講者を含む。)

内容:特任教授(キャリアパスコーディネーター)から、「変わらぬ問い一何のために働くのかー」と題し講演が行われ、経済社会の構造や、今後の方向に関する情報を提供し、研究者、教員、公務員、企業人等の立場において、如何に社会との経済社会との関わりを得るかを考察させ、その結果を就職面談の自己PRの知見とさせた。

② プロジェクト・アシスタント研修会

日時:平成20年3月27日(木)14時～17時50分

場所:東京農工大学府中キャンパス連合農学研究科棟第2会議室

参加者数:プロジェクト・アシスタント20名、PD1名、修士課程学生3名、研究生2名、教職員等6名の計32名が参加した。参加者からはレポートを提出させている。

内容:キャリアパス意識改革の核としての人材養成並びに、キャリアパス支援連携大学での広報活動、支援プロジェクトの企画・評価等の業務内容を理解させることを目的として、研修会を行った。特任教授(キャリアパスコーディネーター)は「新卒者採用に関するアンケート調査から」、毎日新聞社東京本社科学環境部副部長吉川氏は「理系白書の取材から」、日本MITエンタープライズ・フォーラム理事綾尾氏は「メンタリングの真髄—メンターとメンティの関係—」と題して講演を行った。プロジェクト・アシスタントには、参加後に成果としてレポートを提出させた。

③ 連合農学研究科新入生ガイダンス

日時:平成20年4月11日(火)14時～14時30分

場所:東京農工大学府中キャンパス連合農学研究科棟第2会議室

参加者数:70名

内容:特任教授(キャリアパスコーディネーター)が、経済社会の構造、自身の研究分野と経済社会との関わり等について講演を行った。

④ 連合農学研究科農林共生社会学専攻合同セミナー

日時:平成20年8月1日(金)13時～14時

場所:長野県上田温泉ホテル

参加者数:19名

内容:連合農学研究科の授業科目である研究交流科目「農林共生社会科学合同セミナー」の中で、特任教授(キャリアパスコーディネーター)が、キャリア設計に関わる講義を行った。

⑤ キャリア設計セミナー(メンターセミナー、プロジェクト・アシスタント研修会を兼ねて実施。)

日時:平成20年8月4日(月)14時～17時40分

場所:東京農工大学府中キャンパス連合農学研究科棟第2会議室

参加者数:博士42名(24名のプロジェクト・アシスタントを含む)、メンター19名、

修士15名、学部19名、教職員11名の計106名が参加

講師:NHK番組制作局チーフプロデューサー 有吉伸人氏、

ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング研究開発部探索研究クラスターマネジャー 篠原力氏、

日経リサーチ役員待遇労務統括主幹 峰松敏夫氏

内容:有吉氏からは、『「プロフェッショナル—仕事の流儀—」で出会ったプロフェッショナルたち』という演題で講演が行われ、プロフェッショナルの共通点として、「その世界に“とび込む”時に理由は無かった」、「大きな挫折を味わっていた」、「根拠のない自信を持っていた」、「必死さが技術や経験を凌駕する」等番組制作から得られた知見が述べられ、参加者に強い印象を与えた。また、篠原氏からは、『ベンチャー企業の中で一段と生きる「博士」』という演題で、研究者として自身の専門分野を探求する喜びとそれ

機 関 名：東京農工大学

実施計画名：東京農工大学キャリアパス支援センター事業

を社会に還元する困難さが伝えられた。更に、峰松氏からは、『就職戦線の最新状況及び日経リサーチ調査結果による優良会社の考え方』という演題で、就職戦線に乗り遅れないことや就職に望む心構えが伝えられた。

⑥ 岐阜大学大学院連合農学研究科共通ゼミナール

日時:平成20年8月19日(火)16時~17時

場所:愛知県青年の家

参加者数:20人、その他教職員20人

内容:岐阜大学大学院連合農学研究科の授業科目である「共通ゼミナール」の中で、特任教授(キャリアパスコーディネーター)が、キャリア設計に関わる講義を行った。

⑦ 岩手大学大学院連合農学研究科共通ゼミナール

日時:平成20年8月29日(金)11時30分~12時20分

場所:岩手県柴中央ラ・フランス温泉館ホテル湯楽々

参加者数:学生42名、その他教職員

内容:岩手大学大学院連合農学研究科の授業科目である「共通ゼミナール」の中で、特任教授(キャリアパスコーディネーター)が、キャリア設計に関わる講義を行った。

(2) 研究指導者対象の意識啓蒙・労務・法規研修

研究指導者を対象として、東京農工大学産学官連携・知的財産センター客員教授・准教授、企業出身者、顧問公認会計士等の専門家による意識啓蒙・労務・法規研修を実施し、適切な進路指導ができる体制(メンター制度)を整備している。

① メンターセミナー

日時:平成20年3月7日(金)14時~17時35分

場所:東京農工大学府中キャンパス連合農学研究科棟第2会議室

参加者数:25名(メンター25名、博士学生・PD等12名、その他12名)

講師:毎日新聞社東京本社科学環境部副部長 吉川学氏、元デビスカップ日本代表 西尾茂之氏、日本MITエンタープライズ・フォーラム理事 綾尾慎治氏

② メンターセミナー

※キャリア設計セミナー、プロジェクト・アシスタント研修会を兼ねて実施した。詳細は別途記述の通り

(3) 民間企業に対する人材PR活動

企業等の人事担当者、研究機関関係者の交流セッションの実施、企業側ニーズを踏まえたマッチング事業、ベンチャー企業等の合同説明会、OB活躍事例を含むキャリアガイドブックの作成を通じた民間企業に対する積極的な人材PR活動、連携協力機関、インターンシップ協定を交わしている企業等への人材PR活動を実施している。

① イノベーション・ジャパン 2007

日時:平成19年9月12日(水)~14日(金)9時~19時

場所:東京国際フォーラム(東京有楽町)

参加者数:学生8名(プロジェクト・アシスタント)

内容:特別協賛の野村證券の社員とブースを出展し、訪れた企業の方々の案内を通じた交流の機会を与えた他、シンポジウム2件、セミナー3件の企画・運営を行った。また、プロジェクト・アシスタントには一人80枚の名刺を持たせ、名刺交換をさせることにより企業関係者などと交流を図らせた。

② 第7回産学連携フェア

日時:平成19年10月31日(水)~11月2日(金)9時~19時

場所:北九州学園都市(北九州市若松区ひびきの)

参加人数:学生2名(プロジェクト・アシスタント)

内容:後援の野村證券の社員とブースを出展し、訪れた企業の方々の案内を通じた交流の機会を与えた。プロジェクト・アシスタントには一人80枚の名刺を持たせ、名刺交換をさせることにより企業関係者などと交流を図らせた。また、レポートを提出させた。

③ 立川法人会国分寺地区夏季経営者研修会

日時:平成20年8月31日(日)13時~14時

場所:箱根湯元ホテル南風荘

機 関 名：東京農工大学

実施計画名：東京農工大学キャリアパス支援センター事業

参加者数：経営者 80 名

内容：夏季経営者研修会における特任教授(キャリアパスコーディネーター)の講演に併せ、出席した企業経営者にキャリアパス支援センターパンフレット、求人求職マッチングサイト登録案内を配付して、博士人材の PR 活動とサイトへの登録依頼を行った。

④ 企業等への人材 PR 活動

特任教授(キャリアパスコーディネーター)が随時、都内の上場化学系企業等(40 機関)を訪問して、キャリアパス支援事業及び博士人材の PR 活動を行っている。

2. 社会との交流教育プログラム

(1) 金融経済研修プログラム

金融経済業界の法人開発関連研修、投資情報関連研修、公共・公益法人サポート実務研修、公開引受実務研修等を実施している。

① 金融経済リテラシー研修

日時：平成 20 年 3 月 25 日・26 日 9 時～17 時

場所：野村証券本社会議室(東京大手町)

参加者数：4 名(博士後期課程学生 2 名、PD2 名)

講師：野村証券投資情報部の社員

② 金融経済リテラシー研修

日時：平成 20 年 4 月 16 日・17 日 9 時～17 時

場所：野村証券本社会議室(東京大手町)

参加者数：6 名(博士後期課程学生 3 名、PD2 名、学部生 1)

講師：野村証券投資情報部の社員

(2) 国際交流研修プログラム

国際交流イベントの運営に携わらせることにより、国際交流の在り方について考える機会を創出する。

○ 日英合同セミナー(姉妹校である英国ブライトン大学との共同イベント)

日時：平成 20 年 4 月 17 日(木)9 時 30 分～20 時

場所：駐日英国大使館(東京千代田区 1 番町)

参加者数：5 名(プロジェクト・アシスタント)

内容：会場の設営、受付、会場整理・誘導、PC 等機器操作等を担当させることにより、セミナー運営の業務を、外国人の誘導等を通じて具体的な国際交流推進方法を学ばせた。プロジェクト・アシスタントからは、国際交流支援プログラムの在り方等についてレポートを提出させた。

(3) 起業家支援プログラム

起業家精神の醸成とコミュニケーションスキルの向上を目的に、産官学連携・知的財産センターの協力のもと、起業セミナーを行った。

○ ベンチャービジネスラボラトリー(VBL)ビジネスプラン作成講座

日時：平成 20 年 8 月 6 日(水)・8 日(金)・18 日(月)

場所：東京農工大学小金井キャンパス 11 号館多目的講義室

参加者数：36 名(博士 3、修士 32、学部 1)

講師：日本 MIT エンタープライズ・フォーラム理事 綾尾慎治 氏、新日本監査法人 江戸川泰路 氏

3. メンターによるキャリア設計相談

キャリアパス支援連携大学の教員から選出されたメンターによるキャリア設計相談を実施している。

キャリアパス支援サイトにメンター 58 人の氏名等を公開して、学生、PD 等が直接メンターを指名し、連絡を取ることができるようにしている。指名を承諾したメンターが、サイト上のメール機能を活用してキャリア設計相談を行っている。相談の具体的な件数は、現在調査中である。なお、特任教授(キャリアパスコーディネーター)は、面談 11 名、メール相談 21 通の個別相談を行っている。

4. インターンシップ

機 関 名：東京農工大学

実施計画名：東京農工大学キャリアパス支援センター事業

連携協力機関(企業、機関、団体等)でのインターンシップを実施している。

① 金融経済リテラシー研修

日時:平成20年3月25日・26日9時~17時

場所:野村証券本社会議室(東京大手町)

参加者数:4名(博士後期課程学生2名、PD2名)

講師:野村証券投資情報部の社員

② 金融経済リテラシー研修

日時:平成20年4月16日・17日9時~17時

場所:野村証券本社会議室(東京大手町)

参加者数:6名(博士後期課程学生3名、PD2名、学部生1)

講師:野村証券投資情報部の社員

5. キャリアパス支援サイト(求人求職マッチングサイト)による求人・求職マッチング

キャリアパス支援サイトに登録した学生、PD等は、現在161名、登録企業等17機関となっている。

機 関 名：京都大学

実施計画名：京都大学若手研究人材キャリアパス多様化計画

<p>現在までの事業成果（平成20年8月末現在）</p> <p>主な事業取組みの概要と成果の状況</p> <p>・求人開拓 大手著名企業ばかりではなく、高度知的人材の活用に積極的な企業・機関を訪問し、必要とされる人材ニーズを掘り起こしている。 求人件数114件。（平成20年8月現在） ＊工学系などの分野に対する求人意欲は旺盛であるが、理学、生命系などに対する求人意欲は低く、ベンチャー系などを中心に訪問している。応募倍率が高くなかなか内定を得ることが難しい。また、就職活動のスキルが低いために採用されないケースも多いため、下記の研修会に誘導している。</p> <p>・マッチングシステムの構築 人材データベース https://kucp.gakusei.kyoto-u.ac.jp/jinzaiDatabase/ ポストドクター博士後期過程学生に対する求人情報を、求人側が登録。 人材が随時閲覧可能。直接応募、もしくは詳細情報をキャリアサポートセンターにて相談に対応。 人材側の情報（研究分野、研究成果など）を登録しておき、求人側が閲覧。 関心を寄せた人材があれば、キャリアサポートセンターに連絡。 キャリアサポートセンターが間に入って、お互いの考えや情報を整理したうえで、マッチングを行う データベース登録企業数100社 研究者登録数60名</p> <p>・キャリアカウンセリング 基本的な就職活動のアドバイスから企業の求人情報の提供まで、随時個別に対応。相談拠点として吉田キャンパス以外に宇治キャンパス、桂キャンパスにも相談室を開設。 延べ相談対応者数 19年度：89名、20年度：50名 ○キャリアカウンセリング実施者の就職状況 就職者：19人（PD4人、博士課程学生15人）（19年度）＊20年度未集計 就職先： PD：山梨大学 助教、計算流体力学関連企業、ウイルス研・生体防御研究分野教務補佐、計算力学研究センター、 博士課程学生：（株）地域科学研究所、石川県立大学、住友化学、医学生物研究所、首都大学東京生化学研究室特任助教、（株）インクス、日本エアリキード、りそな銀行（年金信託運用）、シスコシステムズ、（株）ビービット、武田薬品、ニッセン、PD3名。</p> <p>・交流会、シンポジウム、研修会の実施 企業を招待しての合同説明会。意識啓蒙と事業案内のためのシンポジウム、ビジネススキル習得のための研修会を希望者に無料で実施。 平成19年度 計7回 シンポジウム参加者数93名（学部6 修士16 博士50 PD2 その他19） 交流会若交流会&研究成果発表会参加人数7名（講師2名、助教1名、ポスドク1名、博士課程学生3名） 研修会合計のべ参加者130人（学部1、修士12、博士課程101、PD16、研究生1） 企業との交流会（ドクター向け企業交流フェスティバル関西） 参加39名（学部1、博士課程学生35、PD2、既卒1）企業10社。 ＊約半数は重複参加者。全回に参加したのものもいる。研修の成果も大きいのが、参加者が同志を得ることができたのが一番の成果という声が多い。 平成20年度 シンポジウム参加者数参加者107名 企業交流会 企業人7名、研究者36名。 研修会11回、企業交流会2回を予定。</p>
--

機 関 名：京都大学

実施計画名：京都大学若手研究人材キャリアパス多様化計画